

令和元年度 学校評価報告書

1 本年度の重点目標

【全日制課程】

- (1) 自ら問いを立て、解決への道筋を探り、新たな価値を生み出そうとする生徒を育成する。
- (2) 粘り強く問い続ける力を持った生徒を育成する。
- (3) 心豊かで、リーダーシップを発揮できる生徒を育成する。

身に付けさせるべき8つの力【旭東ディプロマポリシー（旭東DP）】

①認知力 ②分析力 ③思考力 ④表現力 ⑤共感力 ⑥探究力 ⑦行動力 ⑧創造力

【定時制課程】

－人間性豊かな生徒の育成を期して－

- (1) 基本的な生活習慣の確立に向けて、自ら努力する姿勢をもった生徒を育成する。
- (2) 学習への意欲を高め、進路目標の実現に向けて努力する生徒を育成する。
- (3) 心身ともに健全で、思いやりの心と感謝の気持ちで挨拶と笑顔のある生徒を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

【教育活動に対する評価】（全日制課程）

評価項目	自己評価の結果	左記に関する学校関係者の評価
学習指導	・新教育課程について議論を進め、単位数の大枠と開始時期を検討した。 ・学習状況調査と授業アンケートを定期的実施し、その結果を周知、分析することで授業改善を図った。 ・探究学習アカデミアや課外活動学びのフローを計画的に行った。	・改善の方策が具体的なので実現を期待します。 ・一方的な学習指導ではなく、調査やアンケートでフィードバックされており、良い結果に整っていると思います。
改善方策	・次年度11月までに新教育課程の原案を確定できるように議論していく。 ・「思考力・判断力・表現力を育成するための授業改善」をテーマとし研究授業を行う。 ・旭東DPと各授業を関連づけられる新しいシラバスの研究・開発を行う。 ・探究学習のさらなる充実を図る。	
生徒指導	・ルール、マナー指導を具体案を示しながら教職員全体で行った。 ・生徒会と協力し、旭東DPをふまえながら行事を実施した。 ・いじめアンケートを利用しながら早期発見、早期解決に努めた。 ・部活動の方針に則り活動し、部活動数の削減についても議論した。	・生徒の負担軽減のため行事の充実を是非図っていただきたい。 ・学校祭での生徒の対応に好感。日頃の指導の成果を感じました。
改善方策	・挨拶の励行、交通安全指導、SNS利用の危険性を周知徹底していく。 ・生徒会行事の更なる充実と、生徒の負担軽減に向けて検討を継続する。 ・いじめ根絶に向けての啓蒙活動を学校全体で実施していく。 ・部活動方針の遵守と間口減に伴う適切な部活動数、顧問配置を検討する。	
進路指導	・業務の効果的運営のため、企画書の整理・活用を継続し、改善に取り組んだ。 ・新入試の正確な情報収集をし、教職員間で共有した。 ・指導目標と照らし合わせ、外部模試等の選定、効果的な指導の検討を実施した。	・進路指導については他校のやり方も参考にしたら良いと思う。 ・新しい入試制度に則した対応にはご苦労が多いと思いますが、改善策の取組をよろしく願っています。
改善方策	・旭東DPを基に、目的・意義を確認し取り組むことで、組織的業務運営に努める。 ・生徒の活動履歴の各大学での活用方法に関する情報を収集し、迅速な対応に努める。 ・模試の目的・意義の共通理解を深めることで、指導の更なる充実を図る。	

健康・安全指導	・学校不適応の生徒が年々増えており、スクールカウンセラーの活用や指導体制の充実が求められている。 ・保健室を通して、生徒の健康や生活習慣の改善の指導を行い自己管理能力の向上に努めた。 ・非常災害時の対応の体制のづくりが求められた。	・現在、コロナ対策で苦勞していることと思います。適切な対応をよろしくお願いします。 ・学校と家庭の連携を更に密にし迅速な対応が可能なマニュアル作りをお願いいたします。
改善方策	・保健相談部を機能させ教育相談体制を整え、生尾への指導・支援を組織的に行う。 ・保健だよりを定期的に発行し、更に健康に関する啓蒙・広報活動を推進する。 ・緊急時の対応を定めた危機管理マニュアルの見直しを常に図っていく。	

【学校運営に対する評価】（全日制課程）

評価項目	自己評価の結果	左記に関する学校関係者の評価
信頼される学校づくり	・シラバスの実践状況と課題を明確にし、評価・改善に努めた。 ・学校案内の改訂など、本校の教育活動の情報発信を推進した。 ・保護者全員によるアンケートを実施し、教育活動の改善に努めた。	・情報発信については、校内委員会の発足に期待します。 ・外部の方が閲覧しても東高の魅力が伝わる学校ホームページを期待しております。
改善方策	・学校評価の集計や分析を適正に行い、学校評価の更なる充実を図る。 ・校内委員会を発足し、ホームページの充実など組織的に情報発信に努めて行く。 ・保護者懇談会や進路説明会等を通して学校の教育活動の理解と協力を図って行く。	
組織運営	・資料の事前配付や論点整理等、打合せや会議の短縮化を図った。 ・間口減を見据えた分掌や学年編成の再編・見直しを図った。 ・定時退勤日の設定、変形労働時間の実施等、時間外勤務縮減を図った。	・運営の充実と業務のスリム化は、基本的に両立が難しい面があると思う。先生方の業務の厳しさが伝わってきました。心身ともに健康を害さないよう改善策の推進をお願いいたします。
改善方策	・事前打合せの促進や資料のペーパーレス等会議の効率化を図って行く。 ・業務の適正化に向けて各学年・分掌での目標を設定し業務のスリム化を図っていく。 ・分掌や学年の業務をチームとして組織的に行うよう、校内体制の協働化を進める。	
教職員の資質向上	・校内研修促進費を活用し校外への研修を進め教職員の資質向上に努めた。 ・職員会議における研修会や校長通信による啓蒙、通知、新聞記事配布で不祥事防止に努めた。	・引き続き、教職員の資質向上に向けた取組をよろしくお願いします。
改善方策	・研修会で得た情報を回覧や校内研修等を通して全体への周知に努める。 ・不祥事が起こらない職場環境にするため、日常的に注意喚起を行う。	